1. Course Description

肩甲骨から手指の骨損傷について、各部の外傷性骨折損傷について実技を行います。

鑑別診断法、整復法、固定法、後療法について実技をします。

実技実習の中では、チーム医療を心がけ、他者との連携、意志の疎通を訓練し、実際の一連の骨折処置を学びます。

その際、患者への接し方、誘導、扱い方について医療人的対応を同時に習得します。

この授業でDP2および3に関する知識、技法を修得します。

2. Course Objectives

上肢骨折各論の鑑別診断法、整復法、固定法、後療法について実技実習します。

班ごとにシミュレーションしながら技法を習熟し、ギプス、クラメル固定の実際を体験し、その中でチームワークと患者への対応、医療コミュニケーションをとれるようになることを到達目標とします。

3. Grading Policy

中間実技試験10%、期末実技試験90%で評価を行います。

最後の授業で全体に対するフィードバックを行い、テストの解説を行います。

4. Textbook and Reference

Textbook

『柔道整復学・理論編 改訂第5版』南江堂

『柔道整復学・実技編 改訂第2版』南江堂

5. Requirements(Assignments)

1. 座席は担当教員が指定します。履修届けが終了次第しますので、それまでは自由に着席して頂いて結構です。

2. 実技試験は授業期間中に行います。

4. 計画に沿って授業を行いますが、状況により調整しながら進めます。

6. Note

7. Schedule

- [1] オリエンテーションを行った後、基本包帯を行います。
- [2] 肩甲骨の骨折(評価、グループワーク)について学びます。
- [3] 肩甲骨の骨折(整復、固定)について学びます。
- [4] 上腕部の骨折(評価、グループワーク)について学びます。
- [5] 上腕部の骨折(整復、固定)について学びます。
- [6] 肘部の骨折(評価、グループワーク)について学びます。
- [7] 肘部の骨折(整復、固定)について学びます。
- [8] 中間実技試験を行った後、試験の解説を行います。
- [9] 前腕部の骨折(評価、グループワーク)について学びます。
- [10] 前腕部の骨折(整復、固定)
- [11] 手根部の骨折(評価、グループワーク)について学びます。
- [12] 手根部の骨折(整復、固定)について学びます。
- [13] 手指の骨折(評価、グループワーク)について学びます。
- [14] 手指の骨折(整復、固定)について学びます。
- [15] 期末実技試験を行った後、試験の解説を行います。